
シャーペンと床

朔架

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

シャーペンと床

【Nコード】

N3982M

【作者名】

朔架

【あらすじ】

教室っておもしろいこといっぱい

それはある日の朝のことだった

「おはよー、相変わらず早いねー」

「おはよ。」

そっついながら友人はくるくるとシャーペンを回していた

「今日何か小テストあったけ？」

「いや、ないよー」

「じゃあなんでシャーペンだしてんの？」

「いつものことだよ」

「納得したわ」

「え？それで終わり？」

「何か問題でも？」

「ないですー」

そんないつもの会話をしていた時だった

「あ、」

友人の手からシャーペンは離れ…………

なんと、床に刺さった。

「え、ちょ、これなんで刺さってんの!？」

「やばくない!??つか、刺さってるの芯だけだよ!..!」

「ちょ、写真とろ!??つかみんな来るまで、このままにしておこうよ

！」

「そーするか！」

思わず写真を撮る

勿論教師がこないか注意しつつ。

「おはよー…何してんの、君ら」

「あ、はよー。これ見てよ！？」

「どれ…な、え、刺さってんの！？え、あたしも写真撮る！！」

「って、お前デジカメかよ！？」

「気にしない、気にしない」

「あ、おはよー」

「おはよう。」

…え、スルー

「ちよ、スルーしないでよ！」

「あ、駄目だった？」

「これは何かしらツツコミをいれなきゃじゃないの」

「や、なんかもういいかなーって。しかも今日小テストあるし。」

「え？」

（後書き）

どもー朔架ですー

更新遅いよーとかの苦情は受け付けないのであしからず。

実話です。

会話は適当ですが

シャーペンが刺さったのは、実話です

なんの、ドッキリかと思いました。

しばらく爆笑して、我に返って写真を撮りました。

抜くのがもったいないとかいいながら

結局ぬきました

じゃないと、シャーペン使えないもの（笑）

では、また別のお話でー

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n3982m/>

シャーペンと床

2011年10月7日07時52分発行